

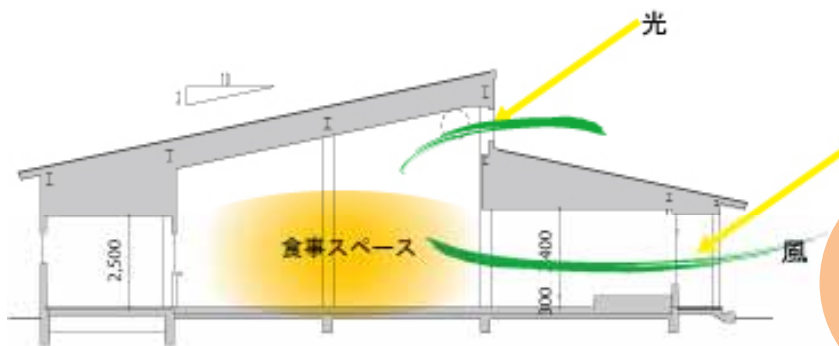
# 九州大学(伊都)保育所の設計概要

## 施設概要

構造 鉄骨造平屋建て  
面積 建築面積465㎡ 延べ床面積404㎡  
工期 H21.4.27 ~ H21.12.25  
総工事費 約115,000千円  
設計 九州大学施設部、(株)綜企画設計  
施工業者 建築 (株)修成工業 機械 オリエント空調(株) 電気 光栄電工(株)

## 設計コンセプト

「機能的で明るく安全・エコな保育所」



平面計画  
管理部門・保育室・外部保育空間の機能関連を考慮した明快的ゾーニング

安全  
目視確認できる平面計画+監視カメラ

環境負荷軽減  
高断熱化  
自然光・自然風・太陽熱の活用



KYUSHU UNIVERSITY

## 計画概要

### 【平面計画、空間構成】

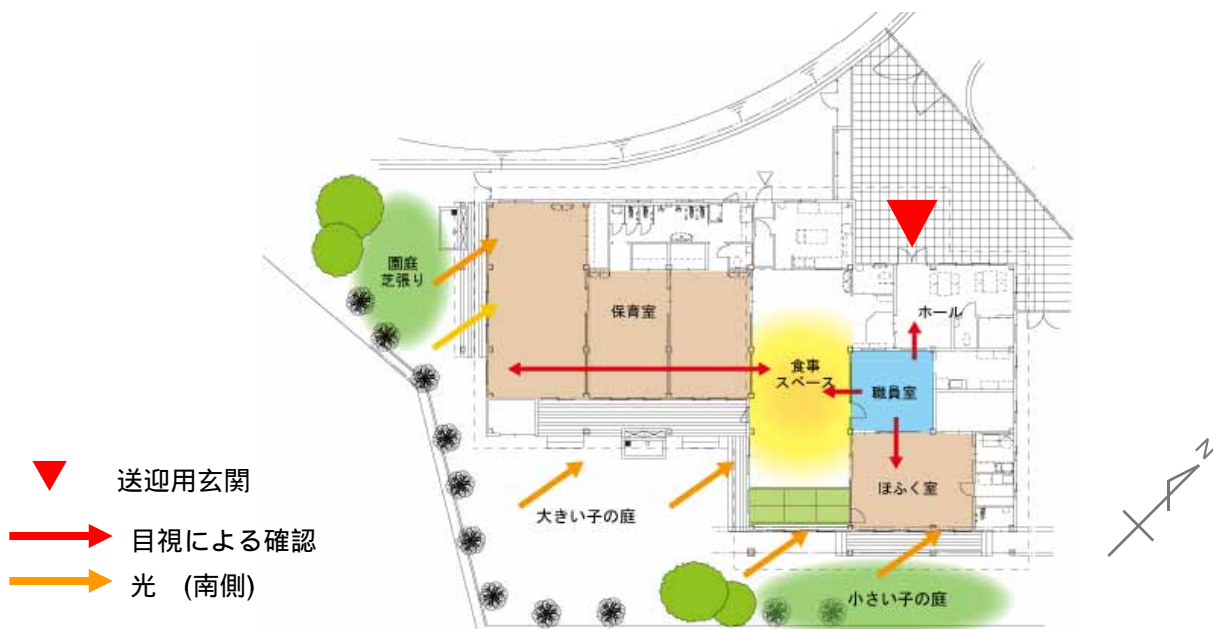
- ・南面に大きな開口を設け、自然光や風を取り込むと同時に屋外テラスを通し屋外と一体化
- ・保育室は可動壁とし、保育児童数や年齢構成にフレキシブルに対応
- ・環境と児童の身体にやさしい床暖房と床吹き出し方式の採用
- ・畳コーナーはあえて段差を設け(H300)、身体能力の発達を促すと共に発表会ステージとしても利用可能

### 【安全・防犯】

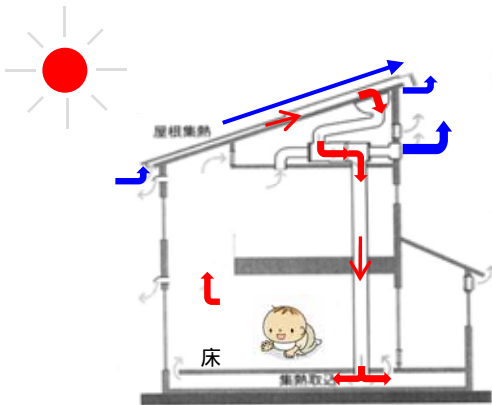
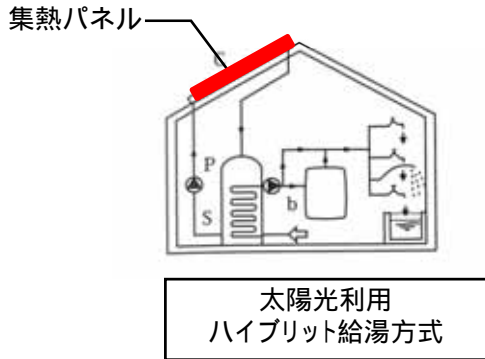
- ・連続性のある空間構成により人の目で容易に管理（職員室とホール、ほふく室間、保育室間）
- ・ホールに待合スペース、授乳室、トイレを設け、保育児童の送迎はこのスペースで完結させることで防犯機能を高めると共に衛生面の向上を図る
- ・児童の安全を考えたドアの指詰め防止金具の取付け
- ・各室の鍵やスイッチ、コンセント高さは幼児の手の届かない高さに設定
- ・電気錠を玄関と保育スペース入り口の2重に設置
- ・監視カメラを玄関と建物周辺に設置し長時間記録も可能とし防犯性を高めている

### 【環境負荷軽減】

- ・建物の高断熱化（外壁中空ボード、屋根・壁グラスウール厚100、ペアガラス採用）
- ・外壁、屋根面とも通気層を設け夏季の熱負荷軽減
- ・自然光を多く取り入れ昼間の照明電力軽減
- ・太陽熱利用のパンプ空調システム・給湯システムの採用  
（冬季に金属屋根を集熱パネルとして利用し暖めた空気を床下に循環し暖房）  
（屋根面の集熱パネルにより作られた温水と空気熱を回収したエコキュートを組み合わせたハイブリット給湯システム）
- ・照明は人感センサー方式を各所に採用。 玄関、便所廻りにはLED照明機器を採用



各種省エネ対応模式図と実際



→ 冬季: 空気集熱暖房方式  
→ 夏季: 空気排熱方式

(パッシブソーラーシステム)

外部各室写真



周辺環境に配慮した配色

## 内部各室写真



玄関ホールと授乳室



連続性のある居室空間



畳コーナーと床吹き出し



総合エネルギー制御監視盤



シャワースペース



幼児用トイレ



内部と連続した屋外テラス